

2020年10月1日

会員各位

(一社)日本環境化学会会長 鈴木規之

(一社)日本環境化学会、日本環境毒性学会、日本内分泌攪乱化学物質学会(五十音順)  
3学会連合大会の検討を開始についてのお知らせ

環境中の物質やその影響に関する研究は、現在の学会の分野を超えて広く展開されています。このたび、日本環境化学会と比較的近い問題意識と異なる分野とを持つ日本内分泌攪乱化学物質学会(環境ホルモン学会)と日本環境毒性学会と連携し、3学会の大会を同じ場所、同じ日時での連合大会を行う可能性について検討を開始することで3学会で合意しました。これまでに各学会にてそれぞれ公式の意思決定が行われ、日本環境化学会では去る8月25日の臨時理事会にてこの方針について承認されております。

研究を進めるときには、相互に比較的近い問題意識を持ち、同時にいくらか異なる分野の専門家同士が広く議論する場を持つことが、どの学会、どの研究領域にとっても有意義なことと思います。3学会連合大会を実現することにより、環境化学討論会の参加者のみならず、分野の異なる学会の皆様と議論の場や領域を広げ、さらなる研究の発展や連携の可能性を高める場として意義を持つと考えています。

このため、まずは3学会の連合大会を目標とする際の検討課題や進め方について議論するための3学会合同のワーキンググループを設置します。ワーキンググループのメンバーは以下の通り決定しました。なお、まずはこのメンバーでスタートしますが、今後必要に応じて各学会から追加や変更などもあり得ると思います。また、学会ごとに人数に多少の違いがありますが、人数に関わらず3学会対等の立場で知恵を出し合い議論する方針で進めることとします。この後、ワーキンググループメンバーの皆様には学会から日程等のご相談をいたしますので、よろしくお願いいたします。

### 3学会連合大会合同ワーキンググループメンバー

環境毒性学会 <http://jset.jp/>

仲山 慶(愛媛大)、坂本正樹(副 富山県立大)、岩崎雄一(産総研)、羽野健志(副水産研究所)、井上義之(CERI)、松本 建(副 日本曹達)、大嶋雄治(九大)

環境ホルモン学会 <http://jsedr.org/index.html>

宮崎 航(弘前大)、江口哲史(千葉大)、石塚真由美(環境ホルモン学会理事)

日本環境化学会 <https://www.j-ec.or.jp/index.shtml>

高橋 真(愛媛大)、水川薫子(農工大)、中尾晃幸(摂南大)、大塚宜寿(埼玉県)、黒田啓介(富山県大)、遠藤智司(国環研)、磯部友彦(国環研)、平井康弘(京大)、藤峰慶徳(大塚製薬)、鈴木規之(日本環境化学会会長)